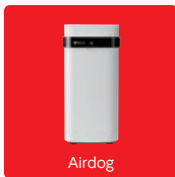


メルコグループ

Business Report 2022

2021.4.1 — 2022.3.31



新型コロナウイルス感染症が社会経済活動に与える影響は今年も継続し、ステークホルダーの皆様は心を痛めておられるかと存じます。謹んでお見舞いを申し上げます。また医療関係者をはじめ感染症の拡大防止に従事される皆様へ心より深謝申し上げます。

2022年3月期は、当社グループは昨年に続き全社的なテレワークを継続しながら、事業の拡大に尽力いたしました。その結果、連結経営成績は増収増益となり、売上・利益共に過去最高を達成することができました。ステークホルダーの皆様のご理解ご支援のおかげと厚く御礼を申し上げます。

資本政策につきましては、「資本政策の基本的な方針」として2022年3月期～2023年3月期において、1株当たり当期純利益の長期的な成長を目指し、安定配当と自己株式の取得により総還元性向80%を目標としております。また、TSR（株主総利回り）を重要な指標と位置づけ、株主様のご期待に応えられるよう事業を進めてまいります。

今後も新型コロナウイルス感染症の拡大防止と事業継続の両立を図りながら、お客様の社会生活の変化をグループ一丸となって支えていけるよう精進していく次第です。何卒ご高承の上、今後ともご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

2022年6月



株式会社メルコホールディングス
代表取締役社長

牧 寛之

メルコバリュー

千年 企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び、活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの永続的な成長を目指します。

変化 即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します。

顧客 志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの智恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします。

一致 団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します。

永続的な成長といかなる外的環境の変化にも耐えうる 強固な事業ポートフォリオ構築を推進

二期連続の増収増益も 先行き不透明な状況が継続

当連結会計年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、経済活動、消費活動が減退する極めて厳しい状況が続きました。新型コロナウイルス変異株の流行、ウクライナ情勢の緊迫化、物価の上昇、円安の進行など先行きが不透明な状況が続いております。

こうした状況下、IT関連事業では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る政府方針に全面的に協力する基本指針をもとに、テレワークの実施、オフィス内での分散勤務、遠隔会議システムの利用など業務継続を確保するための対策を継続し、安定した商品供給と主力商品の積極的な販売活動に努めました。また、食品事業においても、引き続き感染対策を徹底の上、商品の安定供給に努めると共に、販売食数・売上・シェアの拡大に取り組みました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,441億370百万円、営業利益126億980百万円(前年同期比43.5%増)、経常利益130億830百万円(同44.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益93億460百万円(同41.1%増)となりました。

注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっておりますが、2021年3月期に係る各数値については遡及適用を行っておりませんので、2022年3月期の売上高の前対前増減率は記載しておりません。

原材料不足や価格高騰の中 安定供給とコスト削減に注力

IT関連事業では、法人向け市場においては高付加価値商品の拡販に注力し、個人向け市場では「Wi-Fi EasyMesh™」*1に対応した商品や「nasne(ナスネ)®」*2による新たな需要喚起に努めました。これらにより売上高は維持したものの、価格競争の激化及び世界的な半導体不足に起因する供給面での制約、原材料価格の高騰などにより厳しい収益環境となりました。一方で、国内代理店を務める高性能空気清浄機「Airdog」やAMD社製CPU「RYZEN」*3、「バッファロー正規データ復旧サービス」が好調に推移いたしました。

食品事業においては、家庭用は、ブランド商品、家庭用冷凍麺などの拡大に努めましたが、前年特需の反動や天候不順の影響もあり売上は減少しました。業務用は、大手需要家への新規導入や学校給食の導入拡大などにより売上は増加となりました。主原料の小麦粉・そば粉をはじめとする原材料・資材やエネルギー価格が上昇する中、引き続き商品原価の低減や経費の削減に取り組むと共に、2022年3月1日より商品価格の改定を実施しました。

*1 Wi-Fi及びWi-Fi EasyMeshは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

*2 「nasne(ナスネ)®」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標です。

*3 AMD、Ryzen及びこれらの組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

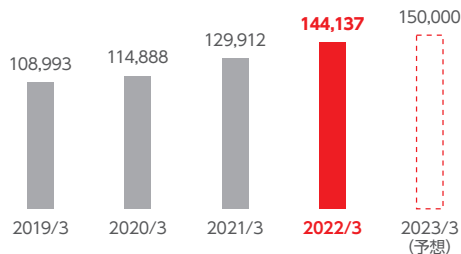
厳しいビジネス環境の中で 安定したグループ経営を目指す

依然として新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中、半導体を中心とした各種部材の調達難や円安の進行、ウクライナ情勢の緊迫化と穀物などの調達原価の上昇やエネルギー価格の高騰などにより、当社グループのビジネス環境は厳しさを増すものと想定されます。こうした状況下で当社グループは、IT関連事業においては、安定した商品供給と高付加価値商品の積極的な販売活動に努めてまいります。一方、食品事業においては、内部統制とSDGsへの取り組み強化及び安定的な利益確保と売上拡大に注力してまいります。

このような想定の上で、2023年3月期の通期連結業績につきましては、売上高1,500億円(前年同期比4.1%増)、営業利益65億円(同48.8%減)、経常利益70億円(同46.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益50億円(同46.5%減)を見込んでおります。

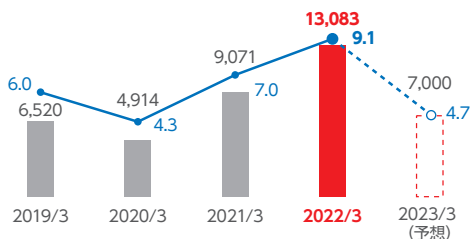
「メルコバリュー」のもと、今後も千年企業を目指し、さらなる発展と永続的な成長を続けてまいります。

連結売上高 (単位:百万円)



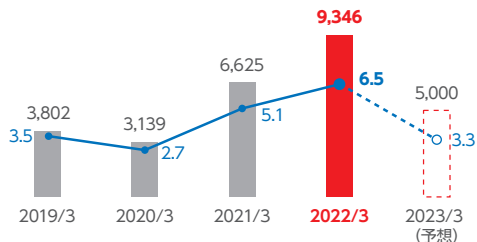
連結経常利益 (単位:百万円)

連結売上高経常利益率 (単位:%)

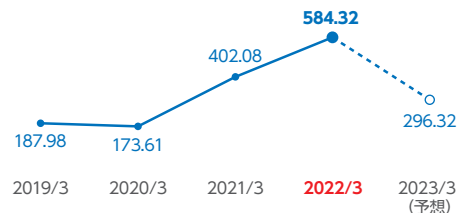


親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)

連結売上高当期純利益率 (単位:%)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



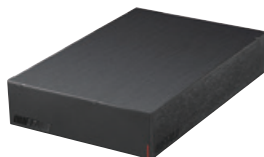
ITから食品、金融まで、3事業体制で お客様の生活やビジネスをサポートします

IT関連

Wi-Fiをはじめとするネットワーク製品、パソコン・テレビ録画用外付けハードディスクや遠隔監視・操作が可能な法人向けNASなどのストレージ製品、磁気データ消去装置「MagWiper」など、デジタル家電やパソコン周辺機器を中心にさまざまな製品を提供しています。また、高性能空気清浄機「Airdog」、ネットワークレコーダー&メディアストレージ「nasne®」、ハイレゾ音源専用デジタルミュージックライブラリーなど日常に豊かさを提案する製品も取り扱っています。さらに、データ復旧サービス、リモート管理サービス「キキNavi」、賃貸集合住宅向けの「アパートWi-Fi」などのサービスやソリューションも提供しています。



Wi-Fi 6 (11ax)対応ルーター



外付けハードディスク



法人向けNAS



nasne®



デジタルミュージックライブラリー



おもいでばこ

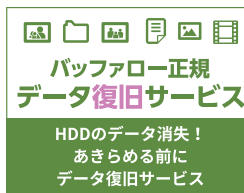


Airdog



キキNavi

キキNavi



バッファロー正規
データ復旧サービス

HDDのデータ消失！
あきらめる前に
データ復旧サービス

データ復旧サービス

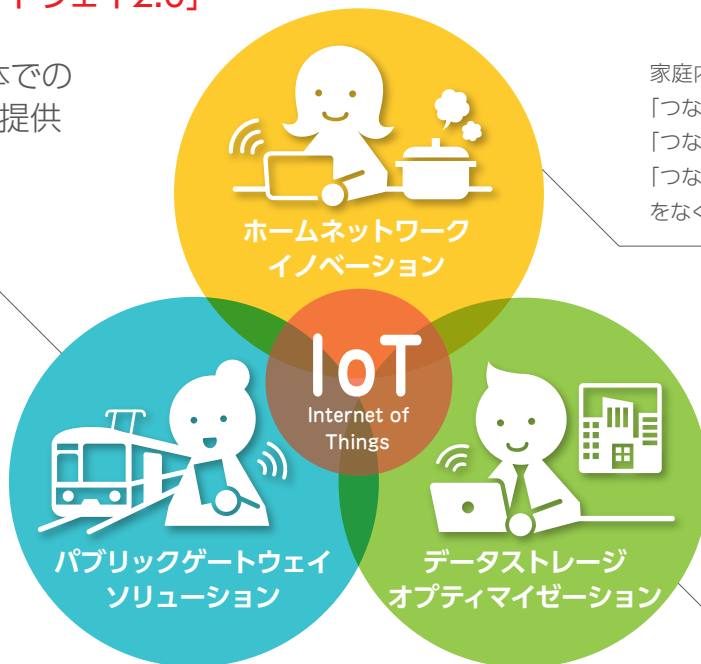
IT関連

中期ビジョン「ゲートウェイ2.0」

モノのインターネット

IoT時代の社会全体での
安心ネットワークを提供

パブリックスペースで
Wi-Fiに
「つながらない」
「つながるのが面倒」
「つながるのが怖い」
をなくす



家庭内でWi-Fiが
「つながらない」
「つなげられない」
「つながらなくなった」
をなくす

大事なデータが
「消失した」
「消失が怖い」
「再生できない」
「使えるが遅い」をなくす



BCN AWARD
2022 (2021年1月～12月)

13部門受賞

全国大手家電量販店の実売データ集計に
基づくAWARDです。

※1 メルコグループとして、CFD販売としては13年連続13回目。

※2 メルコグループとして、CFD販売としては11年連続11回目。

無線LAN
部門

20年連続
20回目



NAS
部門

9年連続
9回目



HUB部門

21年連続
22回目



LANカード
部門

23年連続
23回目



外付けHDD
部門

14年連続
19回目



ルータ
部門

19年連続
20回目



- 拡張インターフェース部門
- メモリ部門
- ドライブケース部門
- PC電源部門
- USBメモリ部門
- 記録型DVDドライブ部門
- SSD外付部門

19年連続 19回目^(※1)
13年連続 21回目^(※2)
12年連続 14回目
11年連続 11回目
2年連続 9回目
2年連続 11回目
2年連続 2回目

食品

ゆでずに水でほぐすだけで食べられる「流水麺」や、健康価値商品「健美麺」をはじめ、うどん・そば・ラーメン・焼そば・パスタなどバラエティ豊かな商品を提供しています。家庭用商品はチルド麺・冷凍麺、業務用商品は冷凍麺を中心に展開しています。素材としての麺だけではなく、魅力ある「麺料理メニュー」や新しい「麺の食べ方」など、常にお客様の視点に立った商品作りにより、麺市場の新たな可能性を創造しています。

開発基本 キーワード「5K」



金融

投資運用業や金融商品仲介業などの事業を通じて、メルコグループの収益安定化に寄与しています。

連結売上高 (単位：百万円)

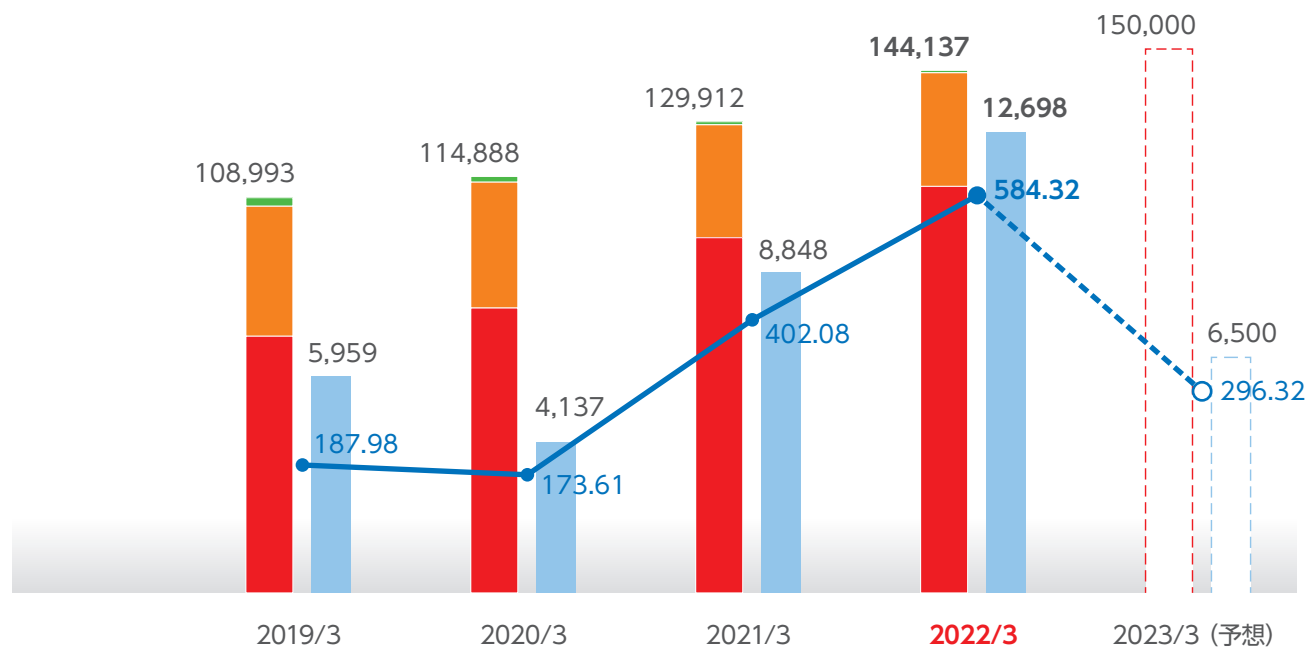
連結営業利益 (単位：百万円)

1株当たり純利益 (単位：百万円)

■ IT関連 ■ 食品 ■ 金融

■

—



■ IT関連

70,783

78,557

97,929

112,161

—

■ 食品

35,900

34,690

31,195

31,317

—

■ 金融

2,306

1,640

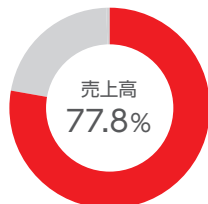
785

657

—

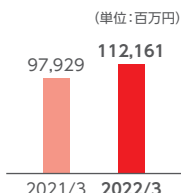
事業別連結売上高・セグメント損益

IT関連



売上高

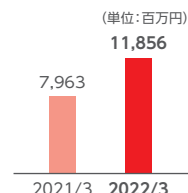
112,161 百万円



セグメント利益

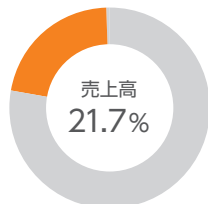
11,856 百万円

前期比 48.9%増 ↑



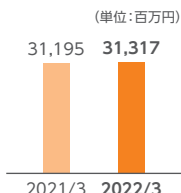
主力とするパソコン周辺機器市場において、法人向け市場では、大容量NASリプレイス時の業務負担を軽減できる「TeraStation」や、セゾン情報システムズのIoTデータ連携ソリューションの共同開発を発表するなど、高付加価値商品の拡販に注力しました。個人向け市場では、「Wi-Fi EasyMesh™」や「nasne(ナスネ)®」を上市し新たな需要喚起に努めました。これらにより売上高は維持したものの、価格競争の激化及び世界的な半導体不足などによる供給面での制約や原材料価格の高騰により厳しい収益環境となりました。一方、当社グループ会社が国内代理店を担っている「Airdog」や「パッファロー正規データ復旧サービス」が好調に推移いたしました。その結果、売上高1,121億61百万円、セグメント利益118億56百万円(前年同期比48.9%増)となりました。

食品



売上高

31,317 百万円



セグメント利益

2,219 百万円

前期比 1.5%増 ↑



販売面では、家庭用は、西日本向け新商品を投入した「太鼓判」などのブランド商品や家庭用冷凍麺などの拡大に努めましたが、前年特需の反動や天候不順の影響もあり売上は減少しました。業務用は、前年の大幅減の反動に加え、新規導入や学校給食の導入拡大などにより売上は増加となりました。利益面では、原材料やエネルギー価格が上昇する中、引き続き商品原価低減や経費削減に取り組むと共に、商品価格改定を実施しました。一方で、テレビCMやキャンペーンなどの広告販促費を積極的に投入しました。その結果、売上高313億17百万円、セグメント利益22億19百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

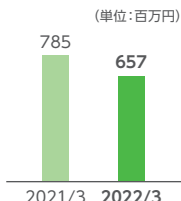
金融



売上高

657 百万円

前期比 16.3%減 ↓



セグメント利益

170 百万円

前年同期セグメント損失63百万円 ↑



難しい運用環境が続き、売上高6億57百万円(前年同期比16.3%減)、セグメント利益1億70百万円(前年同期セグメント損失63百万円)となりました。

株式会社セゾン情報システムズと 資本業務提携契約を締結

当社グループでは2017年3月期より「つなぐ技術で、あなたに喜びを」というコーポレート・ステートメントを発表し、それまでの「モノ基軸」から「お客様基軸」への戦略転換、そして“つなぐ技術”の開発力強化と、それを有する外部パートナーとの連携強化を推進してまいりました。

その中で、システムを“つなぐ技術”で高い実績と技術力を有し、かつ、強いブランドと顧客基盤をもつ株式会社セゾン情報システムズ(以下、セゾン情報という)とデータの利活用を促すプラットフォームの共同開発を進める中、中長期的にさらなる強固な関係を構築し両社のコミュニケーションを円滑かつ確実に進めるべく、資本関係を伴う業務提携契約を締結することといたしました。

本資本業務提携の主な内容としては、IT関連事業を対象としたセゾン情報と当社グループの製品を組み合わせた製品開発や、セゾン情報と当社グループの販売チャンネルの相互活用を目論んでおり、両社の企業価値の一層の向上を目指すと共に、当社グループが掲げる「森の経営」を推進してまいります。



NAS「TeraStation」

株式会社ソニー・インタラクティブ エンタテインメント協力のもと 継承した「nasne®」を発売

2012年に株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント(SIE)が発売した「nasne®」は、自宅のネットワークにつなぐだけで、スマートフォン・タブレット、さまざまな機器でいつでも、どこでもテレビ視聴や録画番組の予約、動画再生を楽しめるネットワークレコーダー&メディアストレージとして、多くのお客様に支持されつつ、2019年に販売終了となりました。

販売継続を求めお客様の声も多く、デジタル家電の周辺機器メーカーとして無線LANをはじめとするネットワーク製品や、NASの開発を手掛けてきたバッファローが、この知見を活かし、SIEの協力のもと「nasne®」を継承することとなりました。2021年3月末から発売を開始、今までの使いやすさをそのまま継承し高画質・高速ネットワーク時代にあわせて進化させています。

バッファローは「nasne®」を通じて新たなデジタルソリューションを創造し、より安全で快適にデジタルデータを保存・再生できる喜びを提供しています。

nasne®



nasne®NS-N100は日経MJ2021年
ヒット商品番付に選出されました。

新型コロナウイルス感染症対策への支援として、全国大学にPD充電器を寄贈するプロジェクトを開始

コロナ禍において、大学などの授業実施状況がオンライン授業となり、在宅やさまざまな場所で受講する学生が増えています。バッファローは変化した学習環境に身を置くことになる新大学生の学業や研究の後押しとして、2022年4月より新生活をスタートする新大学生に向けて、小型・軽量化を実現したUSB Power Delivery対応パソコン用充電器の寄贈を行うプロジェクトを2022年3月から開始いたしました。

本プロジェクトでは「安心で快適な学生生活を過ごしてもらう。」ことをミッションに掲げ、未来をつくる学生たちが安心して学業に専念できるように支援することを目的としており、すでに国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学、公立大学法人名古屋市立大学、早稲田大学の3大学合計で約1万5千台寄贈させていただいております。

今後もバッファローは「つなぐ技術で、あなたに喜びを」をコーポレート・ステートメントとして、新大学生の皆様の学習環境をより快適にするため、ICT支援を継続してまいります。



2022年3月の国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学贈呈式にて。
(右)松尾清一総長(当時) (左)天野浩教授 (中)弊社代表取締役社長 牧寛之

西日本専用「太鼓判」を新発売 うどん・和そば・中華そばを ラインナップ

コロナ禍の長期化により家庭内食需要は引き続き好調に推移する中、消費者の経済性や買い置き志向がより顕著になっております。シマダヤはそのような環境に対応するべく、2021年9月にすでに関東で好評いただいている「太鼓判」ブランドで、西日本専用のうどん・和そば・中華そばの3品を新発売しました。

本商品は、シマダヤのシェアが低い西日本開拓のための戦略商品で、美味しさと保存性を兼ね備えた3食入りのお買い得商品です。また、お客様への認知度を高め、市場へ定着させるため、発売初期の10~12月とうどんの需要が高まる2月に西日本限定のTVCMを放映いたしました。さらに、昨年お客様に好評をいただいたJCBギフトカード5,000円分が当たる消費者キャンペーンもあわせて実施いたしました。それらの効果もあり、多くのお客様にお買い上げいただき、市場を活性化すると共に新たな売上を獲得することができました。

2022年春にはうどんに使用している小麦粉を国産に切り替え、お客様の「安全・安心」志向に対応しました。これからもシマダヤは、従来の「5K」(健康・簡便・高品質・経済性・買い置き)の価値に加え、持続可能な社会に寄与する「環境」や「国産」といった価値を付与した商品を開発・販売することでお客様の食生活に貢献してまいります。



西日本専用「太鼓判」シリーズ

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 2022年 3月31日	前期 2021年 3月31日
① 資産の部		
流動資産	69,722	67,759
固定資産	26,075	18,042
有形固定資産	11,033	11,604
無形固定資産	2,012	917
投資その他の資産	13,030	5,520
資産合計	95,798	85,802
② 負債の部		
流動負債	29,618	29,160
固定負債	3,056	4,449
負債合計	32,674	33,609
③ 純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	250	4,404
利益剰余金	64,898	65,117
自己株式	△3,486	△18,735
株主資本合計	62,662	51,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	605	765
繰延ヘッジ損益	243	176
為替換算調整勘定	△110	△187
退職給付に係る調整累計額	△299	△370
その他の包括利益累計額合計	438	383
新株予約権	22	22
純資産合計	63,123	52,193
負債純資産合計	95,798	85,802

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

① 資産の部

総資産は957億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ99億95百万円増加しました。流動資産は697億22百万円となり、19億62百万円増加しました。これは主に、商品及び製品の増加50億12百万円、原材料及び貯蔵品の増加30億10百万円、受取手形及び売掛金の増加13億52百万円、現金及び預金の減少78億29百万円によるものです。固定資産は260億75百万円となり、80億32百万円増加しました。これは主に、投資有価証券の増加74億33百万円によるものです。

② 負債の部

負債合計は326億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億34百万円減少しました。流動負債は296億18百万円となり、4億58百万円増加しました。これは主に、契約負債の増加10億97百万円、電子記録債務の増加4億10百万円、支払手形及び買掛金の減少8億97百万円によるものです。固定負債は30億56百万円となり、13億93百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少8億61百万円、その他固定負債の減少5億12百万円によるものです。

③ 純資産の部

純資産合計は631億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ109億30百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の獲得93億46百万円、自己株式の処分75億70百万円、自己株式の取得46億68百万円、剰余金の配当13億91百万円によるものです。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自 2021年 4月 1 日 至 2022年 3月31日	自 2020年 4月 1 日 至 2021年 3月31日
売上高	144,137	129,912
売上原価	100,219	94,537
販売費及び一般管理費	31,220	26,526
営業利益	12,698	8,848
営業外収益	856	393
営業外費用	470	170
経常利益	13,083	9,071
特別利益	—	13
特別損失	47	229
税金等調整前当期純利益	13,036	8,855
法人税、住民税及び事業税	3,751	3,032
法人税等調整額	△62	△802
親会社株主に帰属する当期純利益	9,346	6,625

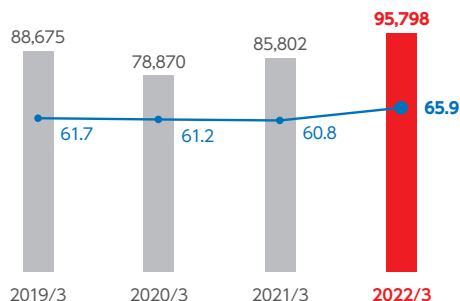
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	自 2021年 4月 1 日 至 2022年 3月31日	自 2020年 4月 1 日 至 2021年 3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,005	11,266
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,839	12,235
財務活動による キャッシュ・フロー	△6,958	△4,441
現金及び現金同等物に 係る換算差額	64	57
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△7,727	19,118
現金及び現金同等物の 期首残高	29,562	10,444
現金及び現金同等物の 期末残高	21,834	29,562

総資産 (単位:百万円)

自己資本比率 (単位:%)



(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

詳細情報は

メルコホールディングス IR

検索

melco-hd.jp/ir/top

国内

株式会社メルコホールディングス

商号	株式会社メルコホールディングス (英文社名) MELCO HOLDINGS INC.
設立	1986年(昭和61年)7月1日
資本金	10億円
事業内容	メルコグループの純粋持株会社 傘下事業会社の株式を所有し、事業活動支援、 経営指導を通じて統括管理を行う
従業員数	35名、メルコグループ連結1,915名
グループ企業	会社数21社(国内17社、海外4社)

役員(2022年6月29日現在)

代表取締役社長	牧 寛之	取締役	平田 一郎
取締役副社長	松尾 民男	取締役	佐々木 繁
取締役	木下 紀夫	取締役	神谷 純
取締役	長瀬 吉昌	常勤監査役	續木 政直
取締役	矢野 学	常勤監査役	井上 武彦
取締役	津坂 巖	監査役	柴垣 信二
取締役	牧 大介	監査役	北村 雅史
取締役	福原 賢一	監査役	木村 彰吾

株式会社バッファロー

商号	株式会社バッファロー (英文社名) BUFFALO INC.
創業	1975年(昭和50年)5月1日
設立	1978年(昭和53年)8月5日
資本金	3億20百万円
事業内容	デジタル家電及びパソコン周辺機器の開発・製造・販売 及びデータ復旧サービス
従業員数	642名

役員(2022年5月17日現在)

代表取締役社長	牧 寛之	取締役	西脇 孝志
取締役副社長	渡邊 泰治	取締役	岩崎 克己
専務取締役	和田 学	取締役	中山 千里
常務取締役	矢野 学	監査役	續木 政直
常務取締役	横井 一紀		
取締役	石丸 正弥		

シマダヤ株式会社

商号	シマダヤ株式会社 (英文社名) Shimadaya Corporation
創業	1931年(昭和6年)7月20日
設立	1949年(昭和24年)3月4日
資本金	10億円
事業内容	麺類及び関連食料品の製造及び販売
従業員数	323名

役員(2022年5月16日現在)

代表取締役社長	木下 紀夫	取締役	佐々木 敏夫
専務取締役	相馬 紳一郎	取締役	曾根田 直基
専務取締役	岡田 賢二	取締役	牧 寛之
常務取締役	小原 伸之	取締役	松尾 民男
取締役	杉山 龍太	監査役	加藤 優

シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売

株式会社バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

メルコシンクレッツ株式会社

音響機器及び関連製品の開発・販売

株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワークインフラの構築・保守

アドバンスデザイン株式会社

データ復旧/消去/変換サービス及びデータ消去製品の製造・販売

株式会社デジオン

ネットワーク・ストレージソフトウェアの開発・販売

株式会社トゥーコネクト

ダイレクトマーケティング業

メルコフィナンシャルホールディングス株式会社

グループにおける金融事業の統括管理

メルコインベストメンツ株式会社

投資運用業・金融商品仲介業

海外

〈米国〉 BUFFALO AMERICAS, INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

〈台湾〉 巴比禄股份有限公司

部材の調達・管理

〈シンガポール〉 Melco Capital Pte. Ltd.

投資運用業

(2022年3月31日現在)

株式の状況

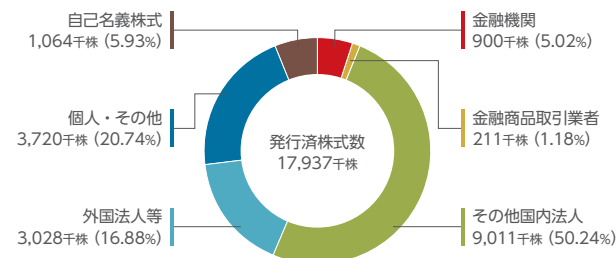
発行済株式数 17,937,873株 (自己株式1,064,359株含む)
株主数 4,566名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社マキス	8,390	49.72(46.77)
ECM MF	1,781	10.56(9.93)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	673	3.99(3.75)
牧 寛之	617	3.66(3.44)
牧 大介	617	3.66(3.44)
公益財団法人牧誠財団	500	2.96(2.79)
牧 順	300	1.78(1.67)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	162	0.97(0.91)
岩崎 泰次	145	0.86(0.81)
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NONTREATY	114	0.68(0.64)

(注) 1. 持株数は千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式を控除した発行済株式の総数を基準にして計算し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。なお、() 内の持株比率は自己株式を含めた発行済株式の総数を基準にして計算しております。

所有者別分布状況



(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 構成比率は、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

株主メモ

決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証プライム市場・名証プレミアム市場
証券コード	6676
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告 https://melco-hd.jp/koukoku/
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル) 平日9:00~17:00
幹事証券会社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

株式会社メルコホールディングス (証券コード6676)

東京本社	〒100-6215 東京都千代田区丸の内一丁目11番1号 パシフィックセンチュリープレイス丸の内 TEL. 03-4213-1122(代) FAX.03-4213-1123
名古屋本社	〒460-8315 名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル TEL.052-251-6891(代) FAX.052-249-6609



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

ウェブサイトのご案内

株式会社メルコホールディングス

最新ニュースや会社情報、投資家様向け情報などを提供しております。



<https://melco-hd.jp>

株式会社バッファロー

製品やサービスの情報や活用事例及びサポート情報を提供しております。



<https://www.buffalo.jp>

シマダヤ株式会社

お奨めレシピや商品に関するさまざまな情報を紹介しております。



<https://www.shimadaya.co.jp>